

【株式会社大平戸農園】

国産初の果汁飴を使ったフルーツわたあめ機の開発

開発のねらい

弊社は、農産加工の新たな分野を模索した中で果汁入りのわたあめを開発したが専用機がなく海外製を輸入改造し使用していたが故障が多く、稼働率が悪いため、国産わたあめ機製造会社 朝日産業と共同で開発を行う。

開発の概要

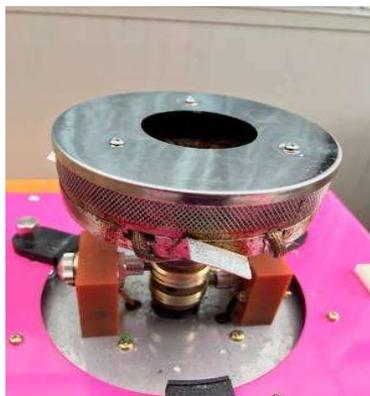
従来のわたあめ機は、釜側部にニクロム線があり、遠心力によりザラメが触れ液状化し綿となりわたあめが出来ていたが、今回、果汁飴を使用するのでニクロム線だと上手く綿にならないので、釜底面にヒーターを内蔵し飴を溶けやすくする構造の釜を金型を製作し開発した。

特長

底面にヒーターを内蔵した事で飴を上手く溶かす事ができ、また、従来のニクロム線の釜より煙を抑える事もでき、飴、ザラメ、グラニュー糖も使用できる優れた釜である。

用途

地域の特産果実の果汁を使用してPRや観光農園で自社栽培果実のわたあめができるなどどんな果汁にも弊社の技術で飴加工できるので可能性は無限大である。



お問い合わせ先

【所在地】 〒368-0201 埼玉県秩父郡小鹿野町両神薄2140-1

【連絡先】 TEL 0494-79-0818 FAX 0494-79-0453 開発部 大谷
<http://www.oohirado-nouen.co.jp>

